

# 大地震から子どもを守る！

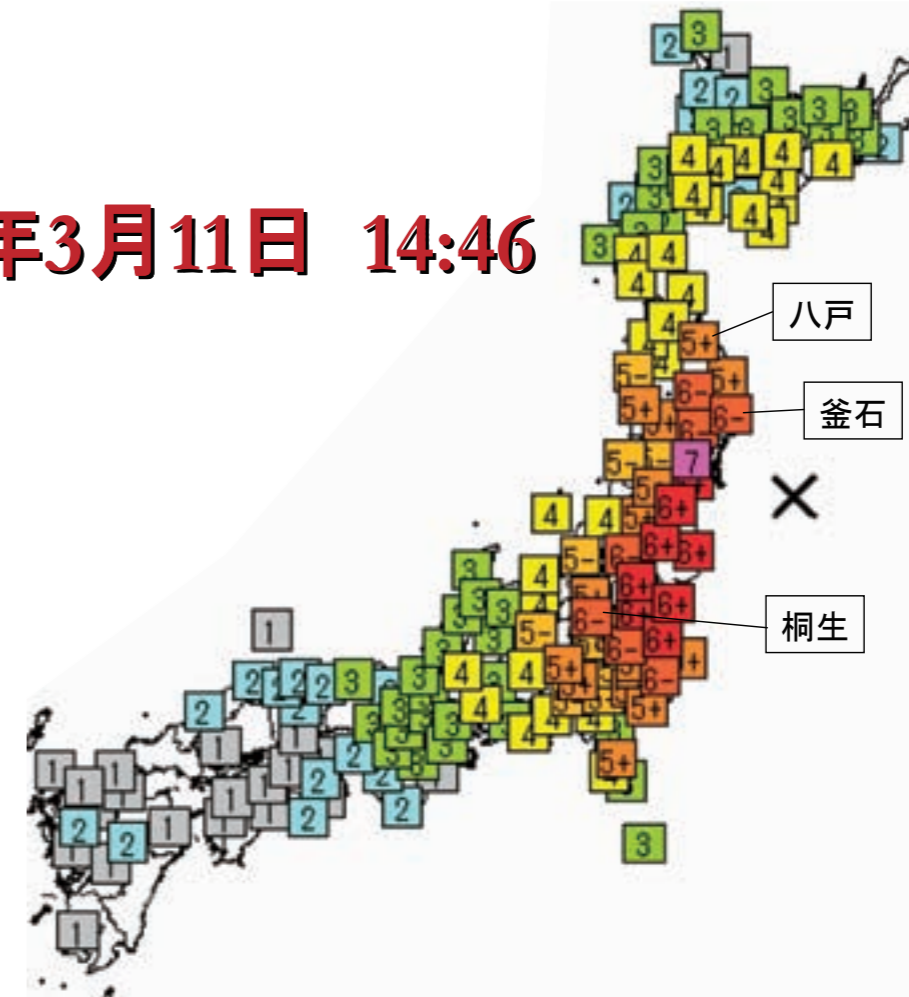
## 防災教育、SOSファイル、学校のBCP

全国特別支援学校知的障害教育校PTA連合会  
**第30回全国協議会大会**  
**関東甲信越大会(群馬大会)**

平成23年8月20日

板橋区福祉部長 兼 危機管理担当部長  
 鍵屋 一

2011年3月11日 14:46



(気象庁)

## 2011年 東日本大震災

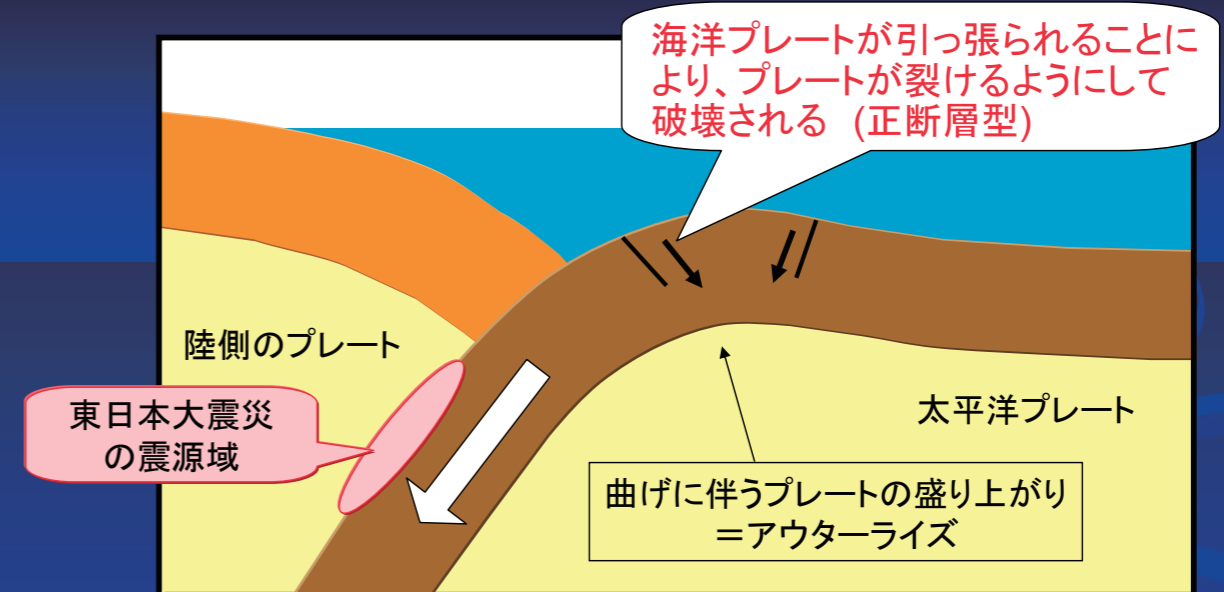
死者：15,057人 } 計：24,178人  
 行方不明：9,121人 } (警察庁：H23.5.15)



釜石市鶴住居地区

両石地区

## 今後懸念されるアウターライズ地震



(過去の例)

- 1896年明治三陸地震(M8.2) → 1933年昭和三陸地震(M8.1)
- 2006年11月千島列島沖の地震(M7.9) → 2007年1月(M8.2)
- 2011年東北地方太平洋沖地震 → 3/11.15:25の地震、3/22の余震



# 2011年 東日本大震災



宮城県名取市 (ロイター)

5



# 2011年 東日本大震災



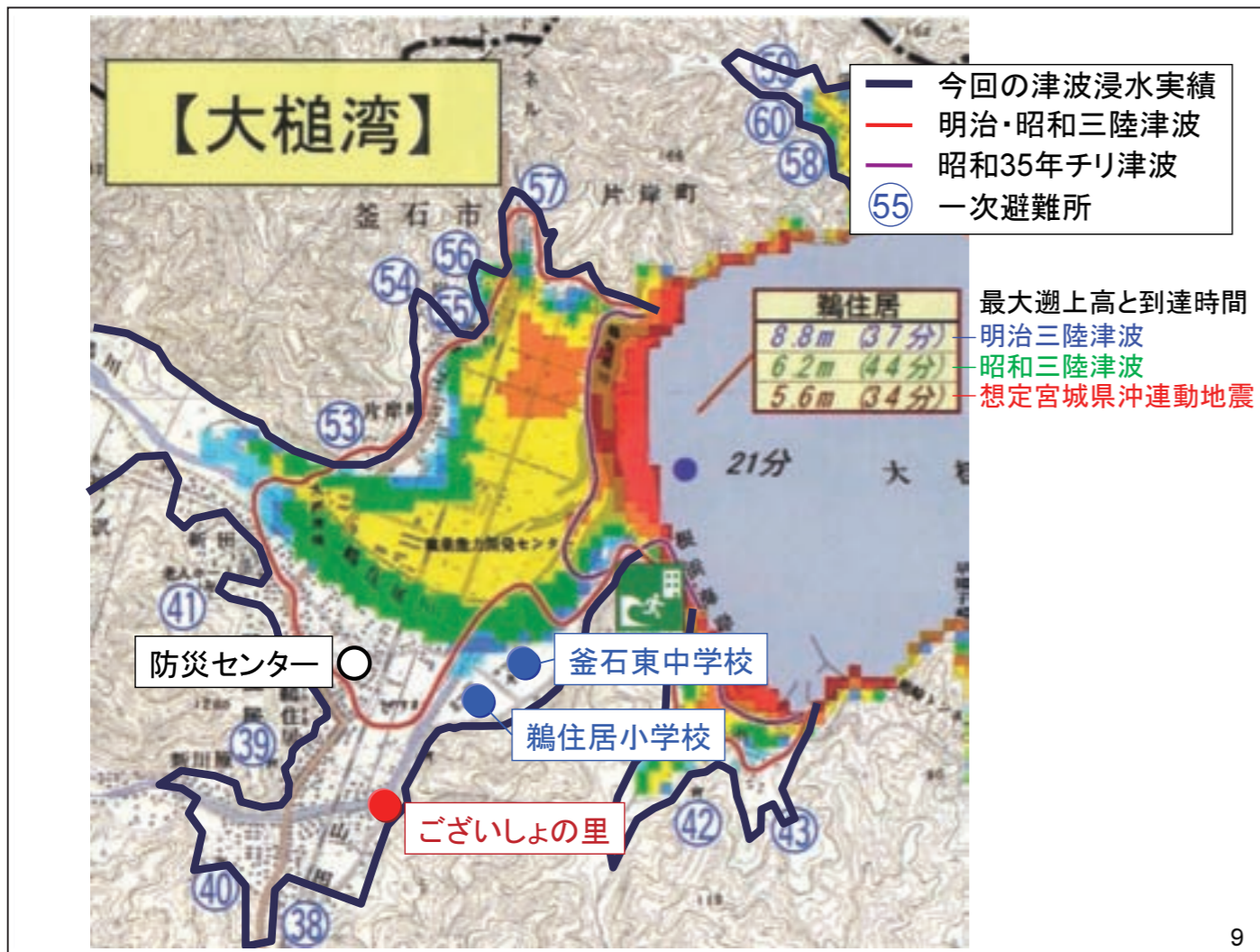
岩手県宮古市 (毎日新聞)

映像(テレビ朝日)→

6











ございしょの里の裏山

13

## 釜石で伝えた【避難の3原則】

### 【想定にとられるな】

「ハザードマップを信じるな!」

浸水想定区域はあくまで“想定外力”に基づくものであって、それ以上の災害が起こる可能性があると思え  
【浸水想定区域外であったにもかかわらず、避難対策をしっかりとっていた】

### 【最善を尽くせ】

「ここまで来ればもう大丈夫だろう」ではなく、そのときできる最善の対応行動をとれ  
【予め決めておいた避難所よりも、さらに高台へ避難した】

### 【率先避難者たれ】

いざというときには、まず自分が避難することその姿を見て、他の人も避難するようになり、結果的に多くの人を救うことが可能となる  
【避難する中学生を見て、小学生は校外へ避難した】

15



ございしょの里

14

### 【率先避難者たれ】

- ……正常化の偏見※を打ち破る
- ……同調性バイアスでみんなを巻き込む

#### ※正常化の偏見「自分は大丈夫」

……自分にとって都合の悪い情報を無視したり、過小評価してしまう人間の特性

ex)逃げない非常ベル……初着のリスク情報の無視

16



# 釜石の子どもたちに教えてきたこと

◎ **姿勢の防災教育**  
 防災に対し主体的な「姿勢」を醸成する

✗ **脅しの防災教育**  
 恐怖喚起のコミュニケーション  
 =外圧的に形成される危機意識は長続きしない

✗ **知識の防災教育**  
 =与えられる知識は主体的な姿勢を醸成しない。  
 災害イメージの固定化をまねく…想定にとらわれる

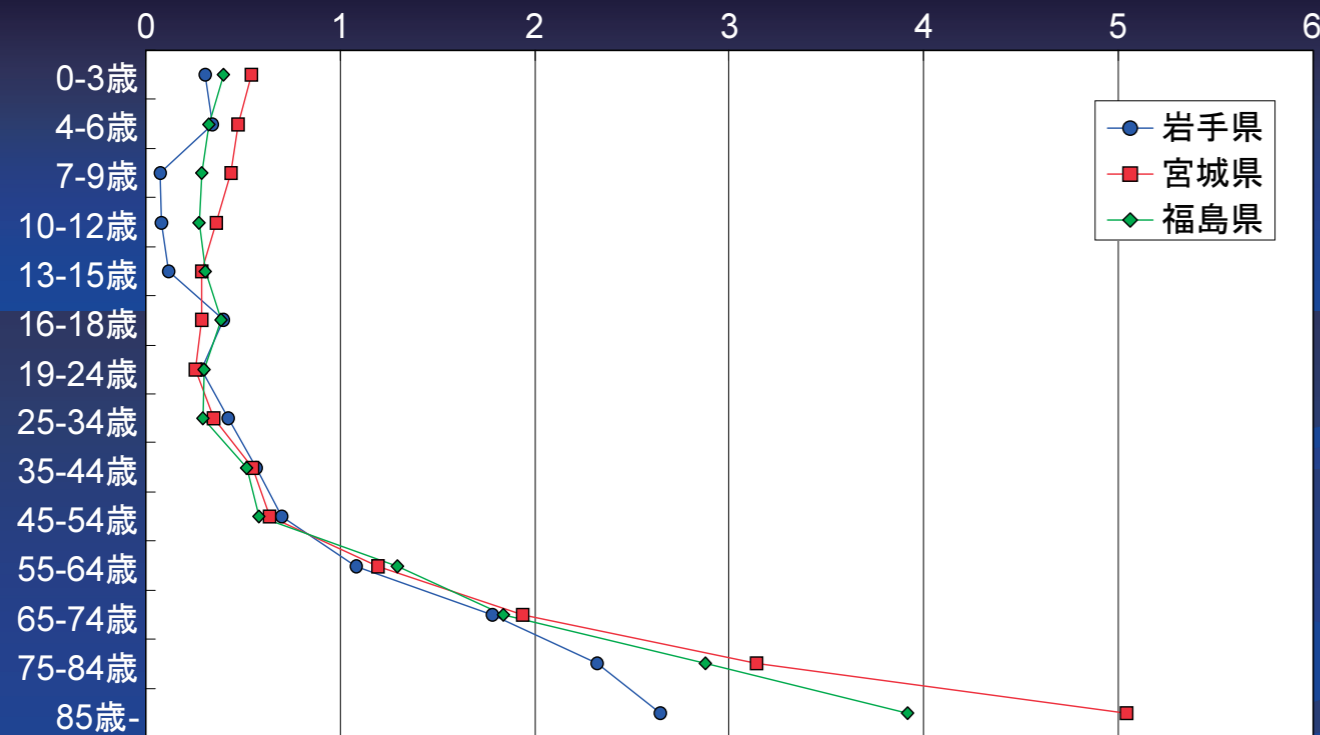
## 5:46の衝撃

(1分半バージョン)再生  
 人と防災未来センター提供

映像が表示されない場合は、別添映像  
 ファイルを起動させてください

TOHO E-B

# 死者の年齢構成比／人口構成比



※岩手県警、宮城県警、福島県警の死者人定表を元に作成(H23.5.12現在)  
 ※年齢不明はカウントしていない  
 ※住所が県外の死者はカウントしていない

何ちゅう事や、これ…須磨が…  
 長田が…無茶苦茶になっとる！



神戸市広報課が撮影したビデオ  
 神戸市ホームページから

…何ちゅう事やほんま！

厳しく、長い避難所生活が続く...



## SOSファイル

- ・子どもたち一人ひとりが、自分だけの「SOSファイル」をもとう。



## 要援護者支援プラン (1)

### ☆要援護者対策の「肝」

⇒「**減災**」のためのプラン

子ども、保護者の被害を減らすための事前対策を考える。  
できることから始めよう！

## 要援護者支援プラン (2)

### ☆避難の支援

⇒一人ひとりの支援プランをつくる！

子ども、保護者に避難方法、支援者を問いかける。支援者、福祉関係者、地域に問いかける。

### ☆支援プランに基づいた訓練を！

プランを作成したら、そのプランどおりに進むか訓練をして、常に見直そう。



# あんしん箱

要援護者一人ひとりが、緊急時に必要なものを入れた「あんしん箱」を持とう。



# 事業継続（BC）とは？

- 事業継続 (Business Continuity)
  - 企業などが災害や事故などで被害を受けても
    - 重要業務を（なるべく）中断させず
    - 重要業務が中断した場合はできるだけ早急に復旧させること



# 安心箱

## あんしん電話帳

福祉ネットワーク

本人名	
生年月日	年 月 日 (印刷)
住所	
配偶者氏名	( )
電話	

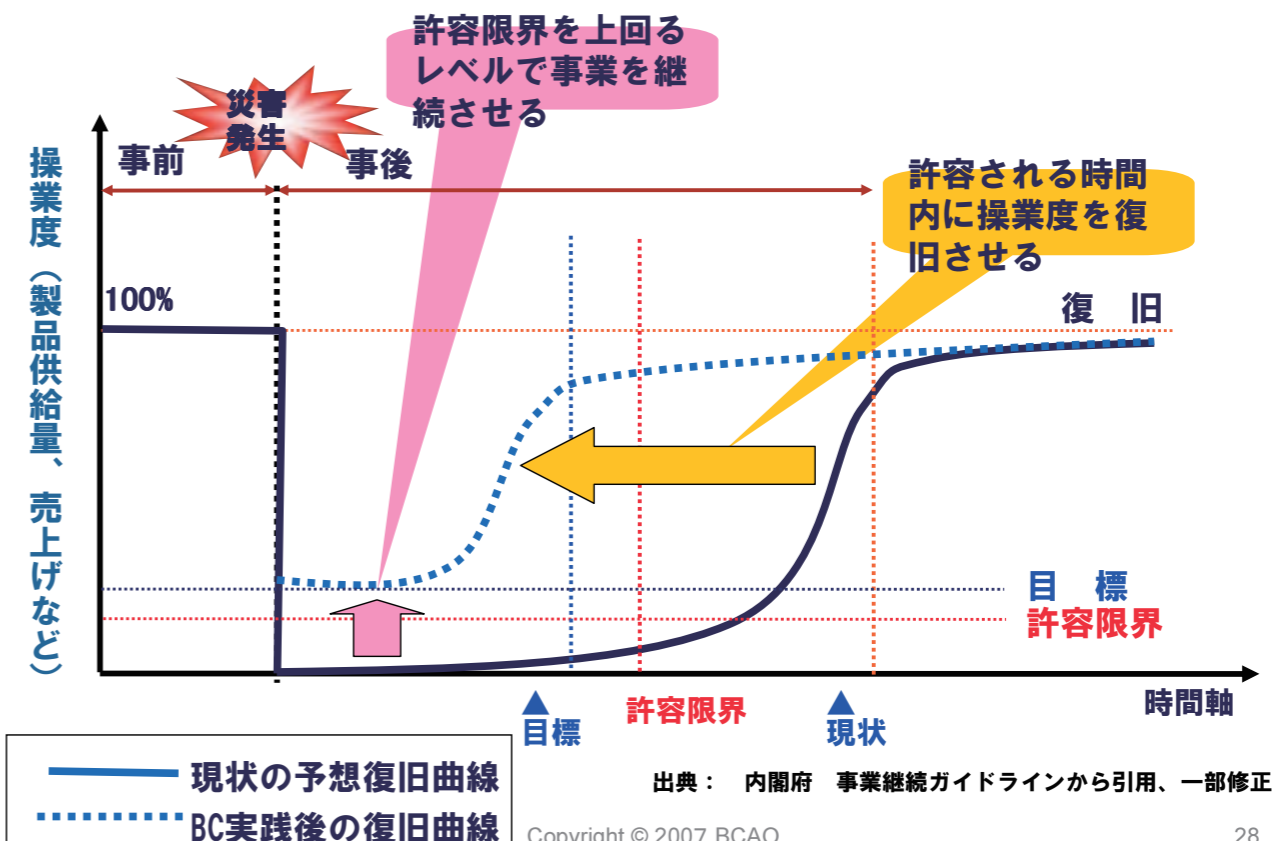
### 準備するもの

バスタオル・タオル  
洗面用具  
小さい洗面用具  
ハブラシ、コップ  
石けん  
湯のみ茶わん・はし  
下着類、ティッシュ  
上履き（スリッパ）  
保険証（写し）

区分	氏名	電話番号
火事・救急車	消防署	119
	警察署	110
主治医		
緊急時の連絡先	(本人の携帯)	
	(本人の携帯)	
民生児童委員		

蕨市社会福祉協議会吉田支所（でんわ）93-4630

## BCの概念



## 従来の防災とBCへの取組みの特徴

	従来の防災	BCへの取組みの特徴
視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 人命の安全確保</li> <li>◆ 物的被害の軽減</li> <li>◆ 拠点レベルでの対策・対応</li> <li>◆ 主に安全関連部門・施設部門の取組み</li> </ul>	<p><b>従来の防災の考え方に加え以下の新しい視点をプラス</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 重要業務(製品・サービスの供給)の継続・早期復旧 &lt;経営の観点&gt;</li> <li>◆ サプライチェーンでの対策・対応</li> </ul>
指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 死傷者数</li> <li>◆ 物的損害額</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 復旧時間・復旧レベル</li> <li>◆ 経営ならびにステークホルダーに及ぼす影響</li> </ul>

Copyright © 2007 BCAA

29

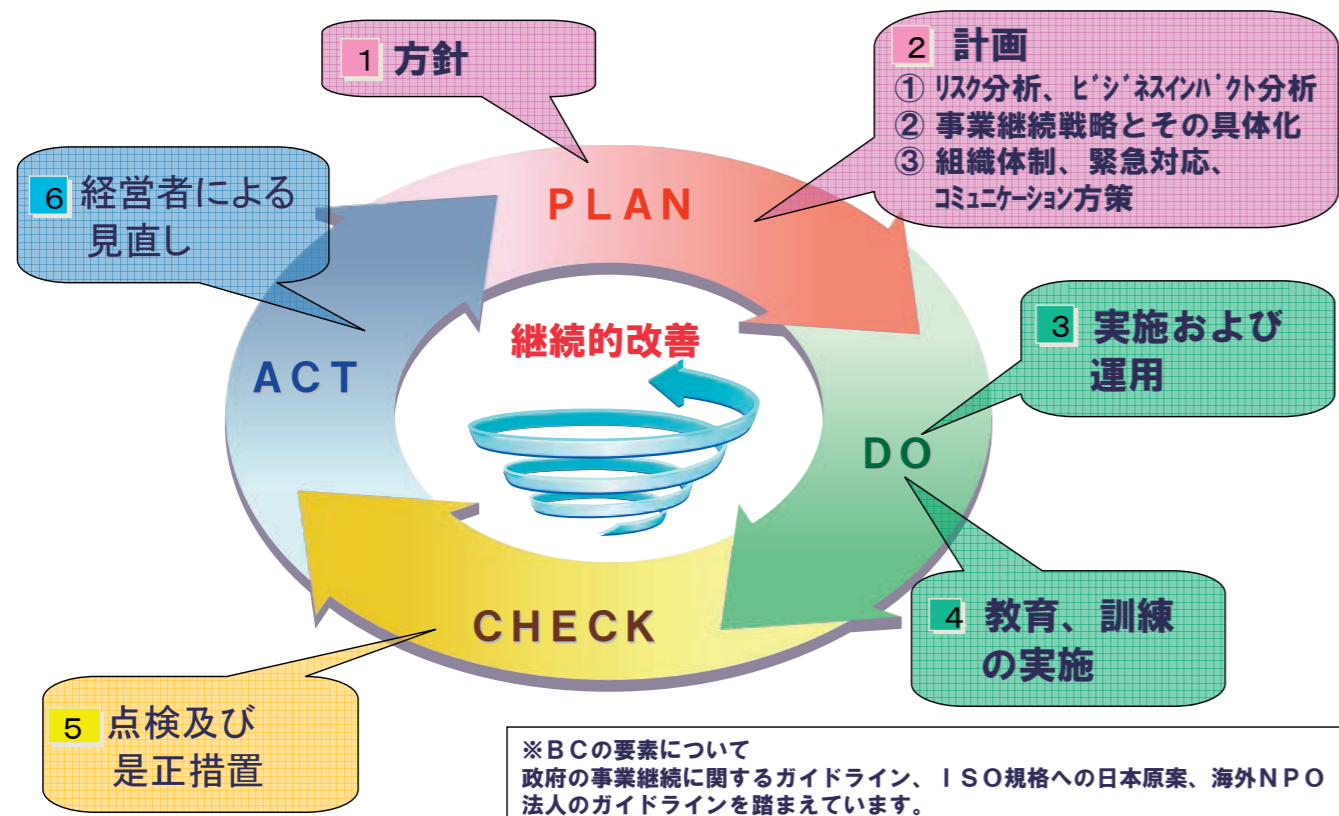
## 福祉施設の事業継続計画 (BCP)の現状

2009年2月～3月内閣府調査

- BCPを策定済み 0.5%
- BCPを知らない 92.1%
- 策定のスキル・ノウハウがない 57.1%

## 特別支援学校は？

## BCのPDCAサイクルの要素



Copyright © 2007 BCAA

30

## 特別支援学校の重要な災害時対応業務

- ① 発災直後 火災対応、利用者の安否確認、医療搬送、緊急点検・・・
- ② 発災当日 災害対策本部、安否確認、**授業や保護の継続**、トイレ、要援護者・・・
- ③ 翌日～3日後 **授業や保護の継続**、職員健康管理、ボランティア、・・・
- ④ 4日後以降 **授業や保護の継続**、支援物資・・・



## 災害時対応業務の考え方①

### ①発災直後

- ・ 火災対応、利用者の安否確認、医療搬送、・・・→人命にかかわり非常に重要
- ・ 施設・被害状況確認（デジカメ撮影）  
→二次被害防止、使用可否の判断、保険請求、復旧作業

## 子どもの保護の考え方

- ・ 基本的な保護  
食事、排泄→できるだけ通常通り実施
- ・ 医療関連行為  
与薬、じょくそう処置、吸引・吸痰・・・  
→生命、生活の維持に不可欠で最優先
- ・ 備蓄可能な資源  
飲料水、洗浄用水、非常食、ポータブルトイレ、ウェットティッシュ・・・

## 災害時対応業務の考え方②

### ②発災当日

- ・ 職員の安否確認→○時間以内に報告集約
- ・ 子どもたちと保護者の安否確認  
→○時間以内に報告集約
- ・ 要援護者の受け入れ→現実には受け入れざるを得ない。福祉避難所への指定も

## 課題と対策①

### ①災害対応体制

- ・ 上位者の役割  
対策の決定と指示、二次災害の防止、チェックリスト、代理者順位・・・
- ・ 対応体制  
基本的なものは消防計画に定める、法人本部や近隣施設との連携・・・
- ・ 連絡体制  
災害時優先電話、トランシーバー・・・



## 火山噴火で全員避難した福祉施設

### 施設長のスタッフへの指示

- ①スタッフが落ち着くこと
- ②利用者にゆっくりと落ち着いた説明をすること
- ③動作はゆっくりと慌てないこと
- ④走らないこと
- ⑤大きな音を立てないこと
- ⑥冷静に利用者の様子を観察し適切に対応すること

## 課題と対策②

### ②職員等の確保

- ・ 教員  
参集できるか・・・
- ・ 看護職  
近隣居住者、医療関連行為でのボトルネック、介護職が可能な医療行為・・・
- ・ 嘱託医  
医療関連行為でのボトルネック、日常から複数の確保、法人内の連携・・・

## 自助努力で解決 困難な課題①

- ・ 教員、看護職員の確保  
人事交流、他校からの応援、  
広域支援体制作り
- ・ 医師の確保  
複数医との連携、自治体の調整

## 自助努力で解決 困難な課題②

- ・ 施設の耐震化促進  
耐震診断、補強、家具・什器  
転倒防止対策への支援
- ・ 備蓄物資の確保  
北海道で暖房は全部電気?!  
→自治体等による基準作成



# 特別支援学校を障害者の避難所に！

## ①学校と保護者でBCPを作成



●大都市部は特に厳しい→職員・保護者の参集・安否確認困難、情報収集提供の困難、ライフライン依存、医師・看護師の確保、多数の地域住民の避難、類焼火災、支援者の不足…

②教育による定着←知っていることとできることは違う！